

市販ブレンドハーブティーの抗酸化活性について

著者名(日)	荒木 裕子
雑誌名	紀要
巻	VOLN1
ページ	19
発行年	2008-10-01
URL	http://id.nii.ac.jp/1345/00003441/

市販ブレンドハーブティーの抗酸化活性について
荒木 裕子 (東京聖栄大)

Antioxidative activity of the blend herb teas
Hiroko ARAKI (Tokyo Seiei College)

要旨

【目的】 演者は前報で、市販ハーブティー（シングルハーブ）の抗酸化性を調査し多くの市販ハーブティーに抗酸化力があることを報告した。本研究では数種のハーブを組み合わせ調製された市販ブレンドハーブティーの抗酸化活性について検討した。

【方法】 試料は都内ハーブ専門店で購入したブレンドハーブティー29種を用いた。抗酸化力の測定として、リノール酸を基質とした水系の反応液に試料のエタノール抽出液、水抽出液それぞれ添加後、40℃にて放置して生成された過酸化脂質量を4日ごとにロダン鉄法で測定した。この際コントロールとして抗酸化物無添加のものと既知抗酸化剤としてBHA添加したものを同時に測定した。また、試料の抗酸化能の指標の一つとしてDPPHラジカル消去能の分析も行った。試料の総ポリフェノール含量はフォリンーデニス法により測定した。

【結果】 ブレンドに用いられているハーブはハイビスカス、ローズヒップ、ブラックベリー（葉）が多く、柑橘類の表皮、果汁の添加も一部見られた。ロダン鉄法による過酸化脂質抑制能は試料無添加のコントロールは4日目以降POV値の急激な上昇を示したが、試料添加したものは全試料に酸化抑制効果があった。特に水抽出区では16日経過しても吸光度が0.1以下であり各試料ともBHAに匹敵する強い抗酸化効果を示した。DPPHラジカル消去能でもロダン鉄法の結果と同様で今回調査した全てのブレンドハーブティーに高いラジカル消去能が認められた。